

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 31 年 3 月 17 日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492500164		
法人名	医療法人社団愛心会		
事業所名	グループホームジューンベリーの家		
所在地	東広島市河内町入野2139-1		
自己評価作成日	平成31年2月22日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3492500164-00&amp;ServiceCd=320">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3492500164-00&amp;ServiceCd=320</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成31年3月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

利用者のご家族の方がここを選んで本当に良かったと思えるように支援しています。特に午前中は季節に合わせた手作業日中活動に取り組んでいます。午後は体操を中心に行っています。また、水分補給にも力を入れています。各人の嗜好に合わせて飲み物を変えながら1日1Lは最低飲んで頂くよう努力しています。併せて薬と併用しての自然排便を促しています。食事面は楽しみの一環でもあるので夕食は手作りをしています。夜は良く休んでいただけるよう足のマッサージを利用者全員に行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

理念「一人一人がその人らしく」を基に”その人らしさを大切にし、個々の生活習慣を大事に、利用者主体で常に考え支援されている。母体の内科医院を中心に、医療・福祉サービスを提供している。また、利用者の健康管理や病状変化に於いても即対応できる体制が整っている。毎日のレクリエーション（日中活動、下肢筋力アップ体操など）にも力をいれており、身体機能の維持向上に取り組んでいる。本人の自尊心を傷つけないように、個々の生活意欲や意思決定につながるような声掛けの工夫に努め、日々のケアについても丁寧に対応している。週1回、各種マニュアルの見直しや、適宜業務改善を行い、職員同士が協力しあいながら「ヒヤリハット」を防止している。安眠への取り組みとして、毎日行うフットケアは、とても好評である。地域との交流も大事にし、近隣学校との交流や地域行事にも積極的に協力・参加している。

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念に添い個別処遇を行っている。編み物が好きな方は続けていけるように支援している。また、穏やかに生活して頂けるよう小学校との交流を行っている。	日々点検しながら、理念の実現に向けて取り組んでいる。元気で過ごされていた生活習慣が継続できるように、生活歴などの背景に基づいた支援に心掛けている。かかわり方で迷いが生じた場合などあれば、理念に立ち返り支援している。	理念を深く実践していくために、年間目標などをつくりあげることが必要と思われます。取り組み方法は、1年間を振り返り、検証しながら地域状況や利用者の状況を確認し、各職員の意見を取り入れ、目標設定する。明確化された目標をつくることで、職員の意識向上・理念に関しての更なる理解向上に繋がると思われます。
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	各季節の行事には参加して頂いている。1月はとんどに参加、3月は小学校の交流会を計画している。	地域貢献の強化として、地元の小・中・高校へ講座などへの講師派遣をしている。地域行事（福祉祭り、秋祭り、なぎ太鼓、とんど祭り）などあれば、参加され地域の方とは顔なじみの関係である。近隣者、ボランティアなどの協力者が年々増加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	管理者が認知症キャラバンメイトの資格をとり地元の小中高校へ講座の講師として参加している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2か月に1回の会議で推進委員さんよりの提案で地元の小学校との交流が行えるようになった、これを利用者は楽しみにしている。	参加しやすい日時を設定され、定期的に開催されている。多様なメンバーの参加にて、事業所の近況報告、事故報告、意見交換が行われている。参加メンバーから介護における相談を受け、アドバイスをを行うこともある。家族代表者のみのこともあり、開催前には、事前に意見・要望を聴くようにしている。	今後は家族などのより多くの参加を促す取り組みとして、①行事案内や会議の目的を説明、②年度毎に参加メンバーの変更、③運営推進会議に参加していない家族に議事録を送付できることを期待します。
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議も市から来て頂き細かくホームの動きを報告できている。また、出前講座においても地域包括支援センター職員と連携しながら行えている。	困った時、わからない時などは、日常的に相談している。地域の行事（ふれあい祭り、福祉祭り）など連携し、ケアマネ協議会などでネットワークが構築されている。今後は、地域の方と協力し合いながら介護相談会を開催したいと準備している。	

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束委員会を立ち上げて身体拘束についての取り組みを話し検討している。</p>	<p>身体拘束委員会を設置し、指針に基づいて、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。身体拘束に繋がる前に個々のケース検討を重ねている。利用者の自由を奪う事無く安全面に配慮した寄り添うケアに取り組んでいる。現在、身体拘束の事例はないと報告されている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>職員会議にて虐待の勉強会を開くなどして取り組みを決め防止に取り組んでいる。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>職員会議にて勉強会を開いているが1人1人の理解ができていないのもっと細かく勉強していく必要がある。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約前にも数回家族と面談を行うなどして不明点や不安点を解消している。入所してすぐサービスが始められるよう職員にも徹底している。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>運営推進会議にて報告し、業務にも反映しているがもっと意見が出せる取り組みが必要だと考えている。</p>	<p>毎月、担当職員から暮らしぶり（お便り）を送付している。意見・要望については”連絡ノート”を活用している。具体的には、歩行訓練の導入などの要望があり、運営に反映させた例がある。利用者と家族との関りを深める取り組みとして、物品などの購入は、家族対応をお願いしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員会議にて職員の意見や提案を出しそれについて話し合っている。みんなの理解が得られれば反映している。</p>	<p>既存職員が長く定着して勤務できるように、福利厚生などの充実や、休日希望日数を増やした例がある。改善改善など意見交換が活発にされている。管理者の業務負担軽減を図る目的で、今月（H31.3）にリーダーを1名導入した。</p>	<p>職員の個人目標をつくりあげることが必要と思われます。取り組みとしては、①職員の個別面談の実施を行い、職員の想いを汲取り就業環境の充実を図る。②目標を設定することにより、更なる意識が維持向上する。①②の取り組みづくりをされることを望みます。</p>
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>管理者の為。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>管理者の為。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>管理者の為。</p>		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>事前面談より本人と話をし要望をお聞きしている。入所時も再度話をし本人の希望を聞き実施している。</p>		

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	事前面談に力を入れ利用するにあたり困っていることや要望を聞き、傾聴に努めているし信頼されるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	アセスメントの段階で本人にとっての優先順位を決めます、それに従い必要とされているサービスをケアプランに反映している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	利用者との関係作りに努めている。午前中午後と日中作業を通してひとりひとりにかかわったり、朝の会の時に全員発言を促している。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	利用者の1か月の状況をお便りにしてご家族に郵送している。また、何かあるとご家族に相談等しながら支援を進めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入所されるときは家で大事に使われていた家具や物を持ってきていただいたり、これまで仲良くされていた近所の方々に面会なども促し来所されたときはお部屋で過ごして頂くなどプライベート空間にも配慮している。	地域行事などに参加することにより、触れ合う機会があり、旧知の関係性を紡いでいる。知人、友人などホームへ訪れた時は、居室に案内され居室でゆっくりと過ごされている。家族の協力のもと、外出、外泊をされる方もいる。	

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	朝の会や日中活動において利用者同士の会話を大切にしたりフロアにおいても孤立しないように会話を促している。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	反省点である。終了された本人とご家族と連絡は取っていませんでした。終了される時にご相談があったらと一声かけるようにしていきたいです。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	まずは入所される時入所されてから面会時にその都度希望や意向をお聞きして話をしている。例えば看取りの方向性など。	入居前には、事前面談を行い、個々の日課の状況を把握して丁寧に対応している。日頃の会話の中から、本人の思いや要望を聴き取り、職員の価値観を押し付けないよう留意している。利用者のペースに合わせ活動し、個人の想いを大事にした取り組みが観察された。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	一人一人の趣味や生活歴を事前面談で確認し入所前から職員会議で共有している。夜は寝間着に着替える人もいればそうではない人もいたので取り入れている。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	反省点である。つつい毎日多忙な業務にかまけてしまい有する力や現状把握には努めません。ただちに考えていきたいです。		

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	反省点である。介護計画作成時にご家族とは話をしますがその都度関係部署とは話をしていませんしアイデアも出せていません今後を考えていきたいと思えます。	今迄の生活習慣が継続できるように具体的な介護計画を作成及び実施をしている。サービス担当者会議に、家族参加が出来ていない状況もあり、今後は介護記録とモニタリングが連動できるように準備している。	充実した介護計画を作成するために、①家族面会時に意見を汲取り、丁寧にアセスメントを行い、適切に介護計画に活かし、一定の期間で見直しをする。②生活歴や現状を把握し、過去→現在→未来を意識したプランを作成されることを望みます。
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	毎日の夜間の様子や日中の様子を個別記録に記入したり、職員間の共有ノートに記入しケアを考えています。	/	
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	夜、安心して休んで頂くために18:00過ぎから毎日足のマッサージを行っている。また、おやつ時には季節のおやつを手作りで作成している。	/	
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	反省点です。ご家族に任せてしまいなかなか地域資源の活用まではいたっていません。今後の課題点です。	/	
30	11	<b>○かかりつけ医の受診診断</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	入所時に受診の件を家族にお聞きしているのをそれに伴い実行されている。主治医とも信頼関係を築けている。	往診体制（週2回）や緊急時の連絡体制のこともあり、ホームの協力医をお願いしている。業務日誌に記録し、ケアの方針を共有しながら対応している。必要時は、歯科の往診を受けることが出来る。ホームとして適切な医療が受けられる安心感がホームの強みとしている。	

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	医院のある外来看護師長と常に連携をとって利用者の健康状況を報告し指導を仰いでいる。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者の入院時は可能な限りご家族と病院へ行き主治医の説明を聞くようにしているし定期的に病院相談員と連絡を取りながら迅速な退院支援も行っている。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	利用者の中で今現在1人の方が看取りの希望を出されています。今は本人はお元気ですが定期的にご家族と看取りに対しての話し合いを持たせていただいています。	看取りの経験から、希望があれば看取りはする方針である。入居時に「利用者の重度化した場合における対応に係わる指針」について説明している。状態変化に応じて、定期的に家族と面談をし、必要時医師と面談を行っている。家族も寝泊まりを可能とした地域交流スペースを準備している。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	毎月の職員会議において全職員に徹底を行っている。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年2回の避難訓練を行っている。また、地域の方にも参加して頂きながらの訓練も行っている。	地震、火災など、あらゆる想定した訓練を実施している。運営推進会議メンバー（地域役員）の協力を頂き、訓練も行っている。災害に備えて、7日程度の備蓄を整備している。平屋建てのを受け、設計の段階から、垂直避難ができるように地域交流スペースのみ2階に上がる階段を設置している。	

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	着替えは必ずお部屋で行っていただきトイレはドアを閉めて見守っている。利用者に対しての声掛けは職員会議で話をしながら行っている。	新人研修を行い、後輩には相手の状態に応じた分かりやすい指導をしている。利用者に、必ず「～してもらって良いですか」と声掛けをしている。本人の自尊心を傷つけないように、個々の生活意欲や意思決定につながるような声掛けの工夫に努めている。毎月職員会議で振り返りを行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	反省点です。本人の思いや希望を聞くようにはしていますが具体的に何をしているかというと答えられません、今後の課題です。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	反省点です。職員側の都合を優先していることが多いです。例えば車椅子の方の生活スタイルなど、椅子に座り替える工夫などをしていません、今後の課題です。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人が着たい服を聞いたりそれをご家族にお伝えしたりの配慮をしている。又お化粧の支援も行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	利用者の好みを聞いている。そしてきこをさばいたり、もやしのひげを取ったり、食器を洗ったのを拭いていたり一緒にいる。	リビングに大きなテーブルを配置し、みんなでテーブルを囲んで食事を楽しんでいる。昼食は、副食（おかず）のみ配食サービス利用している。利用者と一緒に下準備、片付けなどできる部分での手伝いをお願いし協働しながらの食事風景がある。季節ごとの行事食はとても好評である。	

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b>  食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	水分補給には力を入れている。コップも量がわかりやすいものしたり、飲み物も午前と午後違ったものにして飲んでも頂きやすいよう工夫をしている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b>  口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	週1回歯科医と衛生士に来て頂き予防のための口腔ケアやアドバイスをいただいている。利用者は毎食後口腔ケアを行っている。		
43	16	<b>○排泄の自立支援</b>  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	反省点である。職員側に都合に合わせている。今後の課題である。	1日の水分補給（10時：ホットカルピス、15時：スポーツドリンクなど）は、1,000CC以上摂取できるように取り組んでいる。トイレに座ることを基本としたケアに取り組み、トイレには前傾姿勢を取りやすいように手、ひじを置く台が設置してあり、排泄が自立できるような工夫がされている。	
44		<b>○便秘の予防と対応</b>  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	便秘しやすい利用者を把握し食べ物の量なども調整しながらまた、水分補給にも努めている。できるだけ離床して頂くよう努めている。		
45	17	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b>  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	ひとりひとりの希望に合わせた時間に入浴していただくようにしている。又体調にも合わせて入浴時間なども配慮している。	週3回の入浴機会を設け、入浴時間も午後の時間帯で、なるべく個人の好きな時間帯に合わせている。特殊浴槽（リフト浴）を活用して、心身ともにリラックスして、ゆっくりと入浴が出来るように支援している。入浴後は、保湿剤によるスキンケアを行っている。	

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>利用者の皆さん離床しっぱなしではなく1日30分を目標に午後からお部屋で休んで頂いている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>各々のファイルに薬の用途を挟めており持病の把握と共に薬の把握にも努めている、薬の変更が出たら職員会議で徹底した、共有の職員ノートに記入している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>ひとりひとりの嗜好に合わせてカラオケで気分転換をして頂いたりコーヒーを飲んでもらったりして落ち着いていただいている。又、洗濯物を一緒に干して頂いたり畳んで頂いている。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>秋の福祉祭りや地元の小学校の学習発表会や地域の行事などに外出している。</p>	<p>気候が良ければ、ホーム目の前のテラスに出て、外気浴や気分転換を心がけている。近隣学校関係の催し物、地域行事などあればその都度参加している。家族の協力を頂き、外出、外泊、買い物などする利用者もいる。今後、個人外出の充実を図りたいと準備をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>反省点である。今後の課題である。</p>		

自己評価	外部評価	項目( )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>家族に切手や便せん封筒を持参して頂き自由に手紙が書けるようにしている。書く事返事がくることを楽しみにされている。</p>	/	
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>室内の電気を明るくしたり休む時の電気を豆珠にしたり配慮している。光が差し込むところはカーテンをしている。</p>	<p>開放的な空間となるように、天井は高く、天窓を活用することで採光が入る設計となっている。リビングには大きなテーブルを配置し、利用者と職員と一緒に食事をしたり作品作りをして楽しむ場所となっている。木目調を取り入れたつくりで家庭的な雰囲気を作りだすよう工夫している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>フロアで利用者同士が話をしたり歌をうたったりする環境を作っている。</p>	/	
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人が使っていたものを家から持ってきたり本人が過ごせるように希望を聞き工夫をしている。</p>	<p>昔、本人が活躍していた物品類などの持参を家族にお願いしている。居心地よく生活できるように本人、家族と相談している。趣味趣向を活かし個々の生活スタイルに沿ったスペースづくりを心がけている。掃除や換気に努め、清潔で安全な居室となるように職員間で留意している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>導線には物を置かないように利用者が安心して通過できるようにしている。洗面所も利用者の高さに合わせて作っている。</p>	/	

V アウトカム項目( ) ← 左記( )内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームジューンベリーの家

作成日 平成31年4月19日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所の理念を職員全員が共有できていない。	職員全員目標共有できて利用者の処遇ができる。	まずは、職員共有ノートに記入し全員に徹底する。	徹底 1か月 処遇3か月
2	13	職員の力量を把握し職員1人1人育てきれてない。	職員全員の力量を把握する。	職員全員のできることで難しいことをしっかりつかむ。	3か月
3	22	終了したら今迄はそのままになってしまいそれからの関係作りができていない。	サービス終了しても頼っていただけるようになる。	契約最初と中途終了時に家族に話をする。	1年
4	23	意向を聞いていてもついつい職員側の勝手に動いてしまう。	職員全員利用者の意向を把握する。	ケアマネと協力しながらプランに入れ込む。	1年
5	26	担当者会議の充実が図れていない。	本人様家族様が毎回参加できる会議にした。	家族様の都合に合わせて会議を計画してみる。	1年
6	35	定期的に訓練を行っていても緊急時は実践が伴っていない。	実際に事故が起きたとききちんと対応できるようにしたい。	災害が起きた時と同じように気を引きしめて訓練対応する。	1年
7	37	職員側の勝手に日常生活の決定をしている方が多い。	選択肢を多く用意し利用者が選べる自己決定の仕方を試みる。	何ごとをするにも利用者に聞く事。	1年

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。